

## ミャンマーサイクロンに対する日本赤十字社の対応



新校舎で学ぶピヤッポン・タマン小学校の子どもたち

2012年7月12日



ミャンマー連邦共和国 \*2011年3月に民政移管によって新政権が成立

首都：ネーピードー

言語：ミャンマー語

仏教（南方上座部仏教）

面積：678,500k m<sup>2</sup>（日本の約1.8倍）

人口：6,242万人（2011年IMF推定）

人口1人当たりのGDP：702米ドル  
(2011年IMF推定)

## 【災害の概要】

- 発災日：2008年5月2日夜～3日未明
- 被災地：主にエヤワディ地域、ヤンゴン地域
- 死者数：84,500人
- 行方不明者数：53,800人
- 被災者数：240万人以上



## 【日本赤十字社の緊急救援】

- 救援要員として職員4人を派遣。救援物資の輸送の後方支援を実施。
- 国際赤十字の緊急アピールに対し、3,000万円を拠出。
- 国際赤十字を通じて11品目の救援物資（毛布、ビニルシート、蚊帳、衛生用品、台所用品、基礎医薬品セット、シェルターセット、水タンク、ロープ、バクテリアテスツキット、飲料水テスツキット）を輸送し、ミャンマー赤十字社の救援活動を支援。



## 【日本赤十字社の復興支援】

- 3年計画で以下支援を実施、2011年7月に完了しました。

### (ア) 学校の再建事業（二国間支援）

- 事業期間：2009年4月～2011年3月
- 対象と内容：エヤワディ地域の60校  
防災強化型校舎の建設（鉄筋コンクリート）
- 事業管理要員1人を派遣  
(2009年4月～2010年10月)



### (イ) 住宅再建事業（国際赤十字を通じた支援）

内容	日赤支援分	赤十字全体
個人住宅再建	10,234世帯	16,264世帯
保健センター	10センター	20センター
赤十字集会所	42棟	100棟



(ウ) 生計再建事業（国際赤十字を通じた支援）



内容	日赤支援分	赤十字全体
農業支援（種、肥料）	4,638 人	11,082 人
家畜支援（鶏、アヒル、豚）	1,882 人	2,529 人
漁業支援（ボート、網）	4,144 人	4,528 人
零細ビジネス支援（ミシンや材料）	890 人	1,214 人
Cash for work（農道整備等仕事の対価の支払）	850 人	7,444 人

(エ) 保健・衛生事業（国際赤十字を通じた支援）

- 地域保健・救急法の講習会の開催
- ツベルクリン予防接種の普及



(オ) 災害対応

- ヤンゴンの中央倉庫/全国 20 力所の倉庫の整備、災害時のリーダーの育成等

【救援金の使途】(2012年7月)

救援物資、輸送費、職員派遣 他	4 億 8,991 万円
学校再建	3 億 5,531 万円
住宅再建	1 億 9,497 万円
生計再建	1 億 5,449 万円
保健・衛生	8,353 万円
災害対応	7,314 万円
要員派遣費	2,519 万円
事業管理費	5,261 万円
合 計	14 億 2,915 万円

みなさまのご支援ありがとうございました。日本赤十字社の国際活動についてはホームページでも掲載しています。（<http://www.jrc.or.jp/kokusai/index.html>）是非ご覧ください。